

目指す姿 各委員の提案

資料 1

案	意見	提案者
①誰もが自分らしく輝ける、誰もがその人らしさを尊重できる、ジェンダー平等と多様性が根付く社会の実現	「男女」以外にも多様な性のあり方があるので、男女共同参画社会ではなく、多様性やジェンダーとした方がよい。	稲葉委員
②誰もが自分らしく輝ける、誰もがその人らしさを尊重できる、多様な生き方を受け入れられる社会の実現	「男女」以外にも多様な性のあり方があるので、男女共同参画社会ではなく、多様性やジェンダーとした方がよい。	稲葉委員
③誰もが自分らしく輝ける、誰もがその人らしさを尊重できる、多様性を尊重する社会の実現	「男女」以外にも多様な性のあり方があるので、男女共同参画社会ではなく、多様性やジェンダーとした方がよい。	稲葉委員
④誰しも自己実現ができる白井市	この会議は、男女共同参画社会をよくすることを目的とした会議なので、その文言を目指す姿に入れない方がよい。 また短い方が分かりやすい。	海老原委員
⑤白井市ハッピーライフ男女共同参画	白井市に住んで生活すると幸せな人生が送れるとの思いから。	小田川委員
⑥誰もが自分らしく輝ける、誰もがその人らしさを尊重できる、白井市の実現	事務局提案の(案)では、「理念」が誰もが自分らしく輝ける、「行動」が誰もがその人らしさを尊重できる、「何をするか」が「真の男女共同参画社会の実現」となる。男女共同参画社会の「社会」がどこを指すかという点、『白井市』となる。男女共同参画を強調したくない意見もあるため、「〇〇が実現できる白井市」にすると市民にとって身近に感じるのはないか。また、男女共同参画社会は無理に入れなくてもよい。	北川委員
⑦全ての白井市民のジェンダーと多様性が尊重される社会の実現	各委員の提案をまとめた。	北村委員
⑧様々な場面で誰もが自分らしく輝ける、誰もがその人らしさを尊重できる、男女共同参画社会の実現	これまでの計画を資料から読み込むと、第三次計画の目指す姿で「誰もが」という言葉が出てきて、少しずつ具体的なイメージとなってきた。現行計画では事業を統合などしたが、今後も様々な場面で計画の内容を活かすことができればよい。	工藤委員
⑨白井市の全ての市民が自分らしく輝ける、その人らしさを尊重できる、思いやりの持てる社会の実現	男女問わず、LGBTQ+なども含めるには誰もがではなく、「白井市の全ての市民」とすることで、白井市の全ての人を網羅することができる。	鈴木委員